

胸部と骨盤 – 統合システムモデル

*対象：理学療法士

インストラクター: *Diane G. Lee*

<https://learn.dianelee.ca/team/diane-lee/>



開催日	2018年8月25-28日(4日間)
時間	8:30-16:00(最終日は15:30終了予定)*全日参加必須 *スケジュール変更の可能性あり
開催場所	リハテックリンクス株式会社セミナールーム 東京都江戸川区北小岩1-4-3クラウンハイツ201 最寄り駅「小岩駅」(JR総武線)北口より徒歩10分(JR総武線) *開催場所が都内の別の場所に変更の可能性あり(7月中旬に最終決定)
言語	英語*日本語逐次通訳あり
受講料	135,000円(125,000円 + 消費税 10,000円) 受講確定のご連絡と合わせて、お振込先をメールにてご連絡します *受講料にはオンラインサポート料9,000円が含まれています *振込締め切り:5月24日(木) **手数料は振込者負担 <キャンセル料> ✓ 2018年6月24日まで 60,000円のキャンセル料 *振込手数料を差し引いた上で残額を返金 ✓ 2018年6月25日以降 全額*ただし参加者用オンラインサポートも参加不可となるため、その分として9,000円をご返金*手数料はご負担いただきます
申し込み	2018年4月21日12時開始 5月13日24時終了 上記お申し込み期間中に Physiolink HP「講習ご案内」ページ http://www.physiolink.jp/news.html にリンクの「お申し込み」フォームよりお手続きください(メール受付不可)*先着順ではありません

ご注意!

1. 本コースは事前学習が必須です。オンライン学習のアクセスコードはコース約1ヶ月前にメールでご連絡します
2. 本コース中の実技練習は参加者がセラピスト役と患者役を交代しながら進めていきます。そのため、参加中に何らかの体調変化が生じる可能性がございます。健康面で不安のある方はご遠慮ください。

コース事務局: 石井美和子/秋吉直樹 course1@physiolink.jp

*お問い合わせの際は必ずお名前とご所属を記載し、必ず「お申し込みの流れ」までご確認のうえご連絡ください

主催



www.physiolink.jp

統合システムモデル

胸部と骨盤

(2018年日本開催)

<目標および学習内容>

1. 患者の問題（痛みや安定性欠如、パフォーマンス不良、他の能力障害など）の根底にある原因（ドライバー）について統合システムモデルを用いてどのように進めるかを解説する
2. 課題に対し、患者が機能とパフォーマンスに最適な戦略をしているかどうか判断するための骨盤、股関節、胸部の鍵となる幾つかのテストと、複数の機能障害が見つかった場合最初に介入すべき「プライマリードライバー」どのように判断すべきか実習する
3. 骨盤、股関節、胸部が最適な機能を損なう原因かどうか見極めるために必要なクリニカルリーズニングのプロセスをディスカッションする
4. プライマリードライバー（胸部、骨盤、股関節）に対する関節系、神経系、筋膜系の臨床テストを実習する
5. プライマリードライバーの様々なシステムの機能障害に対し、規範的な治療プログラムを構築するためのクリニカルリーズニングをディスカッションする
6. 機能とパフォーマンスのより良い戦略を構築するために必要となる体幹や股関節の部分リリース、アライメント調整しつつ、動かす治療テクニックと動きのトレーニングを実習する

<学習成果>

- ✓ 統合システムモデルの展開のあらましと、統合治療プランにおけるリリーステクニックの役割について理解する
- ✓ 胸部、股関節、骨盤の間に相互に影響し合う痛みや機能不全の主たるドライバーを明確に探し出すクリニカルリーズニングスキルを学ぶ
- ✓ プライマリードライバーを治療するための神経系および筋膜系の統合的なテクニックを学ぶ

<コース受講にあたっての準備（全受講者必須）>

『骨盤帯』第4版（医歯薬出版）に本コースで学ぶ内容が述べられています。特に第7.8章は熟読しておいてください。

また、事前にオンラインコースの閲覧をしていただきます。講習会では、ISMの概要についてはこのオンラインコースをすでに学んでいるものとして進められます。また、受講者は復習用動画も閲覧可能となります。アクセスコードについての詳細は約1ヶ月前にPhysiolinkよりメールにてお知らせします。

臨床で、再発を繰り返すケースを経験したことはありませんか？限られたエビデンスのなかで、最も効果的アプローチを実施できているのか疑問を感じていませんか？臨床像を捉える中で、胸部、腰椎、骨盤のどこが重要なのか、また重要だとわかっていても何をすればよいか、どこから治療を始めればよいのか、それらをどう判断すべきなのでしょう？

ほぼすべての運動課題で「骨盤が機能的に重要である」という事を示す科学的なエビデンスは増えてきました。しかし、骨盤の機能が損なわれたことが患者の主な愁訴の原因なのか、単にあらゆる機能障害の結果生じたのか、どうやったらわかるのでしょうか？胸部と骨盤の関係が腰椎の力の伝達不良を引き起こしているということは、どうすればわかるのでしょうか？機能とパフォーマンスの回復は問題の根底に潜む原因を見極め、そこを治療する事によって成し遂げられます。あるケースでは、その原因が骨盤にあるかもしれませんが、他の部位が原因で骨盤に問題が生じていることもあります。胸部でも同様の事が起こります。どんなときに骨盤、胸部、腰椎のいずれかを治療し、あるいは他の部位を評価すべきなのでしょう？

本コースは、胸部、腰椎、骨盤、股関節領域間の機能的な相互関係と、能力障害と痛みに対する統合システムモデルを用いてそれぞれの患者の臨床像をどう理解し、解釈を進めるかを学ぶ内容となっています。

1. 問診から意味のある課題/テストを選択し、最短に評価を展開する方法とは？患者のストーリーにはすべて個性があり、したがってISMアプローチには機能障害や痛みのパターンに対応するプロトコルやレシピは存在しない。
2. どこが最重要か、つまり犯人すなわちプライマリードライバーはどこか、複数の部位で機能障害が見つかった場合、的を絞って介入すべき部位をどのように決めるか？股関節が原因で仙腸関節のコントロール不良となり、痛みを生じているのか（あるいは胸部や足部の問題なのか）、それとも骨盤そのものに問題があるのか（仙腸関節が固い、骨盤底や腹横筋のコントロール不良—骨盤に起因する骨盤の問題）？
3. ハムストリングスや内転筋のオーバーユースが骨盤のコントロール不良を引き起こしているのか、もっと離れた他の部位の問題によって筋のインバランスが生じているのか？
4. どの時点で特定のシステムのテスト（関節系、神経系、筋膜系、内臓系、生理的要素など）を選択し原因を特定すべきか、様々な身体領域間あるいは領域内の影響を判断すべきか…つまり「適切な時に適切なことをする」ことを学ぶ

本コースでは、複数の所見を統合したクリニカルリーズニング、視覚及び徒手の評価、治療技術を多くの実技とディスカッションに時間を割きます。本コース修了時には、体幹の機能（第3胸部リングから股関節）を評価し、骨盤および胸部の機能に影響する様々な機能障害について理解する新たなスキルが身に付いているでしょう。胸部の分節運動、骨盤、股関節の運動性やコントロール能力を分析するスキルも学びます。ISMアプローチの原理はどのような患者にも当てはまることから、あらゆる患者に対して（産後の女性からハイレベルなアスリートまで）機能とパフォーマンスを回復するための多面的な治療プログラムをデザインする方法（患者教育、徒手療法、神経筋リリース、動きのトレーニングを含む）を理解できるようになるでしょう。

2018年 統合システムモデルを用いたコース お申し込みの流れ

Webよりお申し込み

受付期間：2018年4月21日12時～5月13日24時
Physiolinkウェブサイトに記載されているURLのウェブフォームより受付

受講可否のご連絡

受講可否の決定およびご連絡：2018年5月16日（水）までにメールでご連絡します

「受講可」のご連絡が届いた方

受講費の振込

お断りのご連絡が届いた方

次の機会にお待ちしております

「受講可」通知の際に、受講費のお振込手続きについて合わせてお知らせいたします。**振込締め切り期日2018年5月24日（木）までに必ずお振込ください。**締め切りまでにご入金を確認できなかった場合、受講不可となります

- ◆◆お振込後は下記キャンセル料が発生いたします（両コース共通）。ご注意ください。
お振込後～2018年6月24日：60,000円
※ご連絡いただいた口座へキャンセル料をご返金いたします（振込手数料はご負担いただきます）
2018年6月25日以降：全額（オンラインサポート料を除く）
※キャンセルされた場合、オンラインサポートへの参加もできなくなるため、ご連絡いただいた口座へオンラインサイト閲覧料9,000円をご返金いたします（振込手数料はご負担いただきます）

期日までに受講費のご入金を確認できた方

受講確定のご連絡

コース当日を楽しみにお待ちしております。
オンラインサイト閲覧に関する詳細を含め、開催約1ヶ月前を目処に改めて詳細をご案内いたします。

期日までにご入金を確認できなかった方

自動的に**キャンセル扱い**となります。
2018年開催分の受講はできません。
即日次の方へご連絡を開始しますので、期日を過ぎてお振込いただいても受講できませんので、ご注意ください。
※受講を辞退される事をお考えの場合は各コース連絡先へご一報ください

◆上記のご連絡はすべてメールにて行います。お電話その他でのお問い合わせは受付ません

◆お問い合わせ コース事務局 石井/秋吉

「胸部と骨盤」コースに関するメール course1@physiolink.jp

「頭部、頸部、上位胸部」コースに関するメール course2@physiolink.jp